

やさしくなれ心

日本は多神教という
本舞臺に神さるる解さる

いづげい
お正自存といふかか
おまをまを神棚、神棚

おたん
おまの肉書院
玄奘台所
おふ

ろ、
とよしなるとおく
それ民衆れ神さるが

るそ
うだ
お正自存の神さるへおまのりし

そ
ろかえり
おまのへ行く
神社も一人の神

さまで
あり
おの氏神さるは同じ

交通
会社も七福神さる
おすすめる

おまのりも何か
ら神さるがかわつて
いる

近くにびく宗教もそんなところの神さま

9-10だと思ふそこへ実家がその宗教のた

び一人の青年が勉強と書ていふ

その青年の話によると

朝キから夕方まで一軒づつたおねて宗教の話を

くさくさといふ

一軒の人がおいてくれるのよ一軒も

べつにその言葉でどもすかすかする

思うよそですねとかえる又来る

宗教すすめあかんから又来るよ一軒か

一、二、三、に、お、茶、を、の、み、に、来、る、あ、る、と、な、る、た
 あり、時、信、者、が、三、人、と、来、り、た、へ、こ、い、お、こ
 ろ、ん、た、三、人、の、信、者、を、つ、く、る、と、ほ、あ、る、な
 が、と、感、心、し、た、

その、宗、教、は、信、者、に、自、一、度、カ、レ、し、を、ご、ち、ま、う
 す、る、そ、う、だ、青、年、は、カ、レ、し、の、つ、く、り、方、を、手、い

して、た、い、ろ、く、澄、明、し、つ、い、た、が、あ、ん、ど、う、に
 あり、つ、く、又、あ、や、る、と、い、ろ、こ、お、な、つ、た、あ、い、ぶ

か、な、い、う、方、に、そ、の、青、年、を、知、り、て、い、た、り、だ
 当、の、お、し、し、を、存、べ、こ、と、持、つ、て、行、つ、た

又しばらくいこえ氣よくらうこたろえ

よろにありまし
及射物にういふ十ぐうい

自分を買ひたすし
い

その人々をよいていだがいとしす

私はやさしくあり、どうしてあかたおとい之

あかつたのか、
うい物で全理する
なんて

い多自分の考えを
らふごもろこ
あなくたまよ

のうた、
あし
やさしくあり心